

下呂市水道施設更新事業に関するサウンディング調査の対話結果概要

サウンディング調査実施の経緯

下呂市水道事業における基幹施設である導水管や送水管、低区配水池は昭和 50 年代当初に集中的に整備され、急速に経年化が進み、耐震性能も無い、もしくは不明であることから、早期に更新に併せた耐震化を図っていくことが本市水道事業にとって喫緊の課題となっています。

このような状況を踏まえ、上記の基幹施設の更新やそれに合わせた統廃合整備を行う下呂市水道施設更新事業（以下、「本事業」という。）を実施するにあたり、民間事業者のノウハウや創意工夫を取り入れることを目的とした設計・施工を一括して発注する D B (Design Build) 方式で実施することを検討しています。

実施を検討するにあたり、民間事業者からの提案や意見を受けるためのサウンディング調査として対話・ヒアリングを実施したもので、その対話結果の概要について公表します。

1. サウンディング調査実施の経過

項目	スケジュール
実施要領の公表	令和 6 年 9 月 2 4 日（火）
参加申込期限	令和 6 年 1 0 月 4 日（金）正午まで
事前見学会の開催	令和 6 年 1 0 月 1 0 日（木）
対話・ヒアリングの実施	令和 6 年 1 0 月 2 1 日（月）～1 0 月 2 3 日（水）
サウンディング結果の公表	令和 6 年 1 1 月下旬

2. 事業者の参加状況

項目	事業者数
サウンディング調査への応募	6 事業者
事前見学会への参加	2 事業者
対話・ヒアリングへの参加	6 事業者

3. 調査の対話結果

対話・ヒアリングの項目	主な意見・提案など
事業範囲について	・一括発注の場合、事業規模が大きく地元企業として不安があるという意見がありました。 ・土木事業、管路事業、設備事業を分離して発注して頂きたいという意見がありました。 ・事業範囲として妥当であるという意見がありました。

	・各事業の取り合いは明確にして頂きたいという意見がありました。
対話・ヒアリングの項目	主な意見・提案など
事業期間について	・配水池工事、管路工事、設備工事の想定施工期間の意見がありました。 ・事業期間が長期間に及ぶと、監理技術者の常駐コストに影響し、参加意欲に影響するという意見がありました。
参加企業のあり方について	・下呂市の水道事業における今後の施設更新を考慮した場合、大手企業と地元企業を JV 構成員として地元企業を育成することが重要であるという意見がありました。 ・管路 DB の場合、地元企業が参画することが必要不可欠であるという意見がありました。 ・配水池工事の場合、品質管理の観点から配水池メーカーも JV 構成員として参画することが重要であるという意見がありました。 ・設計企業（コンサルタント）を JV 構成員もしくは協力企業として参画する事例もあるという意見がありました。
発注条件について	・地元企業を JV の構成員とする事業スキームにして頂きたいという意見がありました。 ・JV 制度の甲型・乙型に関する意見がありました。 ・評価方法や技術評価・価格評価の割合に関する意見がありました。 ・詳細設計終了後に要求水準通りか否かで当初工事金額の増減を設定することが重要であるという意見がありました。

対話・ヒアリングの項目	主な意見・提案など
市から提示する情報について	・官民のリスク分担は明確にして頂きたいという意見がありました。 ・基本設計や測量・地質データは公募時に公表して頂きたいという意見がありました。 ・水管橋等の特種箇所は、詳細設計がスムーズに実施できるよう、関係機関協議等は公募前に可能な限り市側で進めて頂きたいという意見がありました。 ・全体事業費のほか、設計費用、工事費用の内訳を公表して頂きたいという意見がありました。 ・物価上昇による工事費の変更条項を採用頂きたいという意見がありました。 ・今回のサウンディング調査だけでなく、今後も官民双方の意図の齟齬を解消できるよう、対話のやりとりを複数回実施して頂きたいという意見がありました。 ・既設撤去工事について、アスベスト調査の基準が変わってきているので、事前に塗料等の情報を公表して頂きたいという意見がありました。
その他	・設備事業や配水池事業のみとした場合、事業の創意工夫の余地はあまり無く、DB 事業とするメリットは少ないという意見がありました。 ・導水管工事は難工事が想定され、公募前の調査が重要であるという意見がありました。 ・管路 DB の事例として、管材メーカーが代表企業として地元企業の指導や育成、地元勉強会開催等を実施している他、試掘、バルブ操作、断水、充水、洗管、切替等で支援し、水道事業者や地元企業の作業負担軽減を行っているという情報提供がありました。